

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2012年9月28日設定)
運用方針	主にフィリピンの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J」の投資証券(米ドル建て)およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎年3月7日および9月7日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

運用報告書(全体版)

イーストスプリング・フィリピン株式オープン

第22期(決算日 2023年9月7日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス:<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
18期 (2021年9月7日)	円 8,177	円 0	% △2.2	% 92.9	百万円 1,339
19期 (2022年3月7日)	8,840	0	8.1	93.0	1,178
20期 (2022年9月7日)	9,089	0	2.8	93.5	1,214
21期 (2023年3月7日)	8,948	0	△1.6	92.5	1,229
22期 (2023年9月7日)	8,896	0	△0.6	91.8	1,255

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

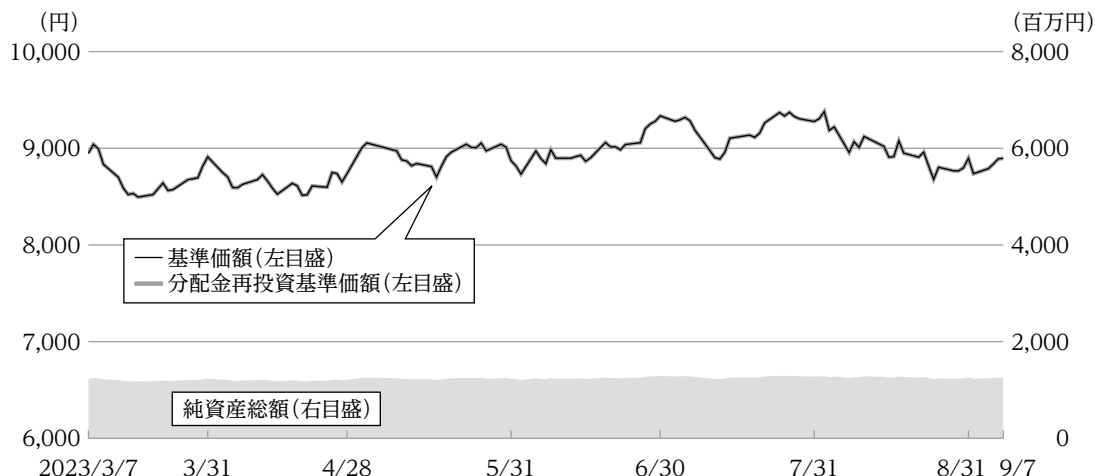
年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
(期首) 2023年3月7日	円 8,948	% -	% 92.5
3月末	8,911	△0.4	91.7
4月末	8,737	△2.4	91.6
5月末	8,871	△0.9	92.0
6月末	9,335	4.3	92.8
7月末	9,277	3.7	93.2
8月末	8,897	△0.6	91.6
(期末) 2023年9月7日	8,896	△0.6	91.8

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額等の推移について

(2023年3月8日～2023年9月7日)



第22期首	8,948円
第22期末	8,896円 (既払分配金0円)
騰落率	-0.6% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因

・投資対象ファンドを通じて保有する株式が下落したこと。

フィリピン株式市場

当期のフィリピン株式市場は下落しました。期初から2023年3月中旬にかけては、米シリコンバレーバンクの破綻などを受けて世界的に金融システム不安が高まる中、フィリピン株式市場は下落しました。その後はフィリピン企業の2023年1－3月期決算が好調だったことや、中央銀行による政策金利の据え置きなどの好材料はあったものの、中国経済の低迷などの悪材料から株価はレンジ内で推移しました。しかし、8月以降は米長期金利の一段の上昇や4－6月期の実質国内総生産（GDP）成長率が市場予想を下回ったことを受けてペソ安が進み、フィリピン株式市場は下落しました。

為替市場

フィリピンペソは、通期で米ドルに対して下落しました。期初から2023年3月末にかけては、世界的な金融システム不安などを背景にペソは上昇しましたが、5月末にかけては米国の債務上限問題などから米長期金利が上昇する中で下落しました。その後はインフレの落ち着きなどを受けてペソは7月半ばにかけて再び上昇しましたが、8月以降期末にかけては、米長期金利の上昇やフィリピン国内の経済指標の悪化などから軟調な展開となりました。

一方、対円ではペソは通期で上昇しました。日銀がイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）政策の柔軟化などを実施し、日本国債の利回りは上昇しましたが、結局日米金利差の拡大が続いたことなどから、円は対米ドルで下落しました。これを受けて円安ペソ高が進みました。

国内債券市場

日本国債利回りは2023年3月半ばに欧米の金融不安を受けて一時急低下（価格は上昇）しましたが、植田新日銀総裁就任後の日銀の政策修正観測から4月中旬にかけて上昇に転じました。しかし、4月下旬の日銀の金融政策決定会合で早期の政策修正観測が後退し、再び利回りは0.4%を下回る水準まで低下しました。7月末の金融政策決定会合でイールドカーブ・コントロール政策が柔軟化されたことから、期末にかけては0.6%を超える水準で推移しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ（以下「フィリピン・エクイティ」といいます。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

フィリピン・エクイティ

フィリピン株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。

当期は景気拡大に伴う貸出の伸びや政策金利

の引き上げによる利ざやの拡大などから株価が上昇した銀行BDO Unibankなどの保有がプラス要因となりました。一方、2023年4-6月期のGDP成長率などの景気指標が市場予想を下回ったことなどからショッピングモールにおける個人消費の先行きへの不透明感が強まり株価が下落した不動産会社SM Prime Holdingsなどの保有はマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第22期	
	2023年3月8日 ~2023年9月7日	
当期分配金 (円)		—
(対基準価額比率) (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		1,423

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるフィリピン・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

フィリピン・エクイティ

フィリピンのインフレ率は2023年8月に前年同月比+5.3%となり、コメ価格などの急激な値上がりを受けて2023年2月から続いていた低下基調から反転しました。中央銀行は通貨安やインフレリスクを懸念し、現時点では利下げは視野に入っていないと表明しました。輸出減やインフレ高進による低所得者層の消費の落ち込みなどを背景に2023年4-6月期のGDP成長率が市場予想を下回ったことから、今後財政支出が拡大することが見込まれます。また、インフラプロジェクトの進展、米国の金融政策の転換、インフレの落ち着き

や通貨ペソの安定などが契機となり、株式市場の再評価も期待されます。セクター別では、拡大が見込まれる消費関連、住宅需要の改善が見られる不動産、安定したキャッシュ創出力と設備投資の抑制による高配当が期待できる通信などを強気に見ています。引き続き投資環境の変化に対する市場の反応などに留意しつつ、下落局面では割安となったファンダメンタルズの強固な優良銘柄に選別投資を行います。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

1 万口当たりの費用明細

(2023年3月8日～2023年9月7日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	62円	0.691%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、9,004円です。
(投信会社)	(24)	(0.265)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(37)	(0.415)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.040	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	(4)	(0.039)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用 (マイナス金利相当額)
合計	66	0.731	

(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

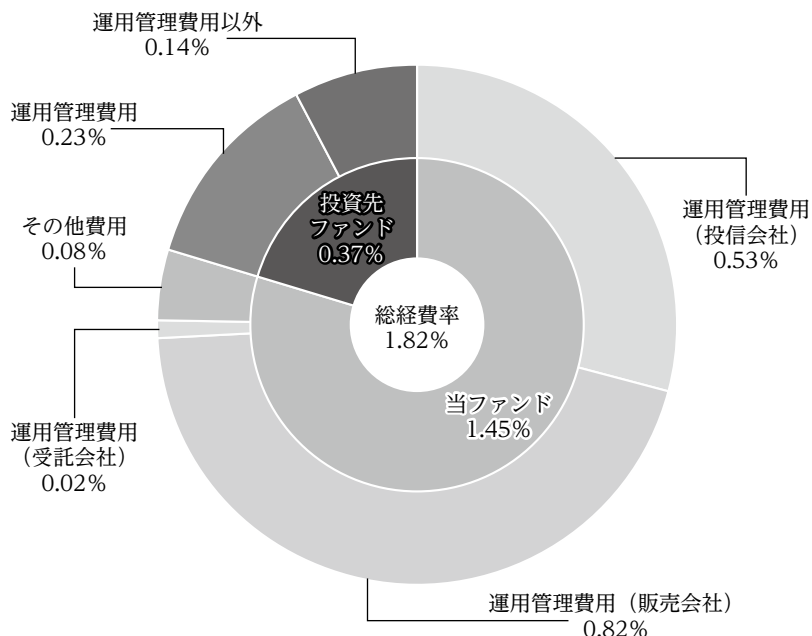
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



総経費率 (①+②+③)	1.82%
①当ファンドの費用の比率	1.45%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買及び取引の状況

(2023年3月8日から2023年9月7日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米ドル建 ルクセンブルグ籍	イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J	千口	千米ドル	千口	千米ドル
			5	100	—	—

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未满是切捨てです。

利害関係人との取引状況等

(2023年3月8日から2023年9月7日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2023年9月7日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	千口 4,636	千口 4,636	千円 4,913	% 0.4
合 計	4,636	4,636	4,913	0.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未满是切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末			
		口 数	口 数	評 価 額	
	外貨建金額			邦貨換算金額	
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J	千口 459	千口 464	千米ドル 7,756	千円 1,147,542	% 91.4
合 計	459	464	7,756	1,147,542	91.4

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未满是切捨てです。

投資信託財産の構成

(2023年9月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	4,913	0.4
投 資 証 券	1,147,542	90.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	115,632	9.1
投 資 信 託 財 産 総 額	1,268,087	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(1,147,542千円)の投資信託財産総額(1,268,087千円)に対する比率は90.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年9月7日における邦貨換算レートは、1米ドル=147.94円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年9月7日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,268,087,876円
コール・ローン等	115,631,770
投資信託受益証券(評価額)	4,913,144
投資証券(評価額)	1,147,542,962
(B) 負 債	12,779,834
未 払 解 約 金	3,733,672
未 払 信 託 報 酬	8,553,948
未 払 利 息	338
そ の 他 未 払 費 用	491,876
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,255,308,042
元 本	1,411,123,566
次 期 繰 越 損 益 金	△ 155,815,524
(D) 受 益 権 総 口 数	1,411,123,566口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,896円

(注1) 元本の状況

期首元本額 1,374,273,894円

期中追加設定元本額 155,086,105円

期中一部解約元本額 118,236,433円

(注2) 1口当たり純資産額は0.8896円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2023年3月8日 至2023年9月7日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 53,351円
支 払 利 息	△ 53,351
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	946,742
売 買 損 益	98,395,697
売 買 損 益	△ 97,448,955
(C) 信 託 報 酬 等	△ 9,052,721
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 8,159,330
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 34,321,178
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 113,335,016
(配当等相当額)	(176,671,512)
(売買損益相当額)	(△290,006,528)
(G) 計 (D+E+F)	△ 155,815,524
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 155,815,524
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 113,335,016
(配当等相当額)	(176,671,512)
(売買損益相当額)	(△290,006,528)
分 配 準 備 積 立 金	24,178,909
繰 越 損 益 金	△ 66,659,417

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(176,671,512円)および分配準備積立金(24,178,909円)より、分配対象収益は200,850,421円(10,000口当たり1,423円)ですが、当期に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ	
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	主として、フィリピンの企業の株式または株式関連証券に投資を行い、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	フィリピンで設立または上場している企業ならびにフィリピンにおいて主に事業展開を行っている企業の株式および株式関連証券	
ベンチマーク	PSEi Index (フィリピン総合指数) *1	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	管理会社	イーストスプリング・インベストメンツ (ルクセンブルグ) S.A.
申込手数料	ありません。	
運用報酬	年率0.25%	
管理費用等	年率0.15%程度	
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等がかかります。	
設立日	2007年7月2日	
決算日	毎年12月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス (1-10年債) *2	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.22% (税抜0.2%)	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)	

*1 PSEi Index (フィリピン総合指数) は、フィリピン証券取引所が公表している指数です。

*2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J」を含む「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2022年12月31日を基準日とするAnnual Report（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

損益計算書及び純資産変動計算書

2022年12月31日に終了した事業年度	米ドル
期初純資産	33,650,267
収益	
配当金	464,974
預金利息	1,070
収益合計	466,044
費用	
運用報酬	165,915
運営費用及びサービス費用	11,007
管理費用	4,807
保管銀行費用	14,267
取引手数料	43,260
管理・名義書換代行事務費用	10,225
監査費用、公告・印刷費用	214
税金	1,805
借越利息	32
役員報酬	1
その他費用	(3,557)
費用合計	247,976
純投資収益（損）	218,068
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損）	(1,939,671)
外国為替に係る実現純利益（損）	(53,010)
実現純利益（損）	(1,992,681)
投資有価証券に係る未実現評価益（損）の変動額	(2,853,146)
外国為替に係る未実現評価益（損）の変動額	4,897
未実現評価益（損）の純変動額	(2,848,249)
運用による純資産の純増加額（減少額）	(4,622,862)
資本金の変動	
投資証券の発行	6,835,652
投資証券の解約	(6,690,700)
当期の純資産の変動額	(4,477,910)
期末純資産	29,172,357

投資有価証券明細表（2022年12月31日現在）
（米ドル表示）

銘柄	数量	通貨	取得金額	評価金額	対純資産比率 (%)
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制ある市場 で取引されている譲渡可能な有価証券					
株式					
Philippines					
Aboitiz Equity Ventures Inc	1,167,820	PHP	1,300,666	1,209,521	4.15
Aboitiz Power Corp	1,061,000	PHP	738,171	648,867	2.22
ACEN Corp	1,820,187	PHP	319,946	249,808	0.86
Alliance Global Group Inc	1,976,300	PHP	610,269	423,261	1.45
Ayala Corp	114,869	PHP	1,618,216	1,439,884	4.94
Ayala Land Inc	3,386,250	PHP	2,502,066	1,883,849	6.46
Bank of the Philippine Islands	1,118,847	PHP	1,913,434	2,047,874	7.02
BDO Unibank Inc	1,153,740	PHP	2,183,143	2,192,651	7.52
Century Pacific Food Inc	685,300	PHP	294,503	317,458	1.09
Converge Information and Communications Technology Solutions Inc	318,100	PHP	150,096	91,263	0.31
Cosco Capital Inc	2,898,811	PHP	353,013	243,368	0.83
Filinvest Land Inc	15,819,126	PHP	445,684	256,046	0.88
First Philippine Holdings Corp	83,340	PHP	134,180	90,703	0.31
Globe Telecom Inc	16,810	PHP	663,474	659,702	2.26
GT Capital Holdings Inc	61,765	PHP	922,018	484,407	1.66
International Container Terminal Services Inc	389,405	PHP	1,057,134	1,398,192	4.79
JG Summit Holdings Inc	1,420,708	PHP	1,633,098	1,285,921	4.41
Jollibee Foods Corp	275,520	PHP	1,159,916	1,138,710	3.90
Manila Electric Co	127,560	PHP	758,640	685,004	2.35
Megaworld Corp	10,393,100	PHP	607,272	374,859	1.29
Metro Pacific Investments Corp	6,553,300	PHP	653,557	402,619	1.38
Metropolitan Bank & Trust Co	1,286,691	PHP	1,478,509	1,248,923	4.28
Monde Nissin Corp '144A'	1,998,200	PHP	608,232	397,951	1.36
PLDT Inc	43,620	PHP	1,492,982	1,032,456	3.54
Puregold Price Club Inc	715,110	PHP	598,007	449,422	1.54
Robinsons Land Corp	1,687,213	PHP	650,394	453,396	1.55
San Miguel Corp	77,570	PHP	182,966	129,467	0.44
SM Investments Corp	170,468	PHP	2,830,132	2,755,636	9.45
SM Prime Holdings Inc	4,390,275	PHP	2,775,132	2,797,869	9.59
Universal Robina Corp	541,610	PHP	1,446,671	1,322,889	4.53
Wilcon Depot Inc	676,000	PHP	355,211	358,132	1.23
			32,436,732	28,470,108	97.59
株式合計			32,436,732	28,470,108	97.59
投資総額			32,436,732	28,470,108	97.59
その他資産				702,249	2.41
純資産				29,172,357	100.00

「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2022/2/26 ～2023/2/27		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.221%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,672円です。
（投信会社）	(15)	(0.144)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.055)	
(b) その他費用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	26	0.235	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の明細

(2023年2月27日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	619,500	643,170	94.1	—	41.2	38.8	14.1
合 計	619,500	643,170	94.1	—	41.2	38.8	14.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示
 国内（邦貨建）公社債
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第351回 利付国債（10年）	%	千円	千円	
	第354回 利付国債（10年）	0.1	50,000	49,555	2028/06/20
	第359回 利付国債（10年）	0.1	59,000	58,107	2029/03/20
	第63回 利付国債（20年）	0.1	90,000	87,709	2030/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.8	50,000	50,298	2023/06/20
	第75回 利付国債（20年）	1.9	45,000	45,937	2024/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	20,000	20,875	2025/03/20
	第87回 利付国債（20年）	2.1	38,000	39,858	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	58,660	2026/03/20
	第91回 利付国債（20年）	2.3	135,000	145,686	2026/09/20
第117回 利付国債（20年）	2.1	77,500	86,479	2030/03/20	
合 計			619,500	643,170	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。